

2009 年度 第 1 期 **肺 が ん**
第 6 回 肺がんの治療：手術について
心臓血管外科・呼吸器外科 森 俊輔

2009 年 7 月 3 1 日発行

1.肺がんには、どんな治療があるの？

肺がんの治療には、抗がん剤を使った化学療法・手術・放射線治療などがあります。肺がんの種類や肺がんの大きさなどを総合して、治療法を決定していきます。

2.どんな肺がんを手術するの

どんな肺がんでも手術ができる訳ではなく、手術には適応があります。

肺がんは小細胞がんと非小細胞がん(腺がん・扁平上皮がん・大細胞がん)に分類できます。また、肺がんの進展度をあらかず病期分類(ステージ分類)があります。

ステージ 0..... がんは表層の一部のみにある早期の段階

ステージ A... がんの大きさは 3cm 未満、リンパ節や他臓器転移なし

ステージ B... がんの大きさは 3cm 以上、リンパ節や他臓器転移なし

ステージ A... がんの大きさは 3cm 未満、同側肺門リンパ節転移あり、他の臓器転移なし

ステージ B... がんの大きさは 3cm 以上、原発巣と同側肺門リンパ節転移あり、他臓器転移なし、あるいは、原発巣が胸膜・胸壁に直接およぶが、リンパ節や他臓器転移なし

ステージ A... 原発巣の大きさに関係なく、縦隔(心臓や食道のある部分)リンパ節転移あり、あるいは、がんが直接胸膜・胸壁に拡がり、原発巣と同側肺門リンパ節転移あり、他臓器なし

ステージ B... 原発巣が直接縦隔に拡がっていたり、胸水があったり、原発巣と反対側の縦隔、首のつけ根のリンパ節に転移あり、他臓器転移なし

ステージ 原発巣の他に、肺の他の場所、脳、肝臓、骨、副腎などの臓器に転移(遠隔転移)がある

非小細胞がんでは、手術適応がある患者さまには、まず手術を選択します。通常ステージ A から B までとステージ A の一部です。

小細胞がんの場合、手術の対象となるのはステージ 期の症例だけです。これは、小細胞がんに対しては、化学療法や放射線療法がよく効くからです。しかし、小細胞がんは転移を早期に起こしやすく、たとえ小さいうちに発見されても、目に見えない転移があると考えられています。

したがって、術後の化学療法が必要です。

肝臓や骨・脳などに遠隔転移があった場合は、手術のみでは根治が得られないため、通常手術適応にはなりません。抗がん剤による化学療法や放射線治療を行います。

3.肺がん手術の実際

手術では、背中から脇腹にかけて15～20cm皮膚を切開します。

肺は、左右に1つずつありますが、右肺は上・中・下の3つの部分に分かれています（それぞれ右上葉・中葉・右下葉といいます）。左肺は上・下の2つの部分に分かれています（それぞれ左上葉・左下葉といいます）。

肺がん手術の標準術式は、肺葉切除＋リンパ節郭清です。例えば、右肺上葉にがんがある場合は、右肺上葉を切除します。がんは、血流やリンパの流れに沿って他の場所に広がってしまうので、手術では、周りのリンパ節も切除します。

当院では、手術時間は4～5時間、入院期間は14日程度です。

手術で1肺葉を切除したとしても、手術後の日常生活には支障はありません。

また、手術にて切除した肺とリンパ節は、病理検査にて、がんの広がり具合やリンパ節転移の有無を調べます。手術後の病理検査の結果、ステージB以上であった場合は、呼吸器科にて、術後追加治療をおこなうことがあります。

図 肺がん術後約1週間の創部



4.病期別治療成績

肺がん手術症例の治療成績は一般的に5年生存率で表されます。5年生存率とは、「がんの治療開始から5年後に、生存している人の割合」のことです。

日本肺癌学会がまとめたガイドライン（2005年版）によると、ステージAの5年生存率が79%、ステージBが60%、ステージAが59%、ステージBが42%、ステージAが28%、ステージBが3～20%となっています。

肺がんを治療するためには早期に発見することが重要です。そのためにも、検診などで、症状がないうちに発見することが大切です。

前回予告より発行が遅くなりましたことをお詫びします。

次回 第2期 乳がん スタート

この内容は、名古屋掖済会病院ホームページでもご覧頂けます。

2009年8月下旬配付予定

えきさいかい

